

ヒメジ理化 株式会社

ガラスで未来を創る会社



企業の特徴・強み

当社の生産技術本部では、各部署の意見を吸い上げ、大型のマシニングセンター以外の設備をほとんど自社で開発しています。独自のノウハウを活かし、品質向上や安全確保に努めています。

また従業員が働きやすく、定年まで働ける職場も当社の強みであり特徴です。昨今は、終身雇用のマイナス面が着目されがちですが、当社が得意とするガラスのハンドメイド加工を習得するには長い時間がかかるため、社員一人一人の経験・能力が他社を圧倒する生産力の礎となっています。そして、その社員数や雇用の安定が世界の半導体製造装置メーカー、そしてデバイスメーカーに評価されています。



オンリーワン認定製品・技術について



当社が取り扱う石英ガラスは、純粋な水晶だけを熔融し作られたガラスです。このガラスの加工には大きく分けて二つの加工があります。一つはマシニングセンターなどを使った機械加工、そしてもう一つは当社が得意とする火加工です。切り取ったものを接着させるといった細かい作業は機械加工では難しく、火加工でないと行うことができません。細かい製品を作成することができるのが、火加工の強みです。石英ガラスは耐熱性が高いため、2,000度を超える温度でないと加工ができず、火加工はととても大変な作業です。火加工技術の習得には10年以上かかり、この技術の継承には費用と根気が必要となることから、他社が参入しづらい分野となっています。当社では、若手社員の採用を積極的に進め、その結果、従業員の平均年齢は39歳と比較的若い人員構成を実現しました。オンリーワン企業といえば製品に注目が集まりがちですが、当社はガラス加工の技術継承のノウハウ・実績において世界一と自負しています。



最新トピックス・アピールポイント

2026年に新設する田村工場(福島県)においては構内でグリーン水素を生成し、副生物である酸素と共に火加工の燃料として使用します。我々が田村工場で製造する石英製品はお客様の脱炭素の取り組みに協力すると共に現在問題になっている再生エネルギーの出力制御の一つの解決策として貢献できると考えております。

COMPANY PROFILE



現代の電子機器などに必要不可欠な半導体を生産するために、欠かすことのできない石英ガラス器具を製造しています。加えて、紫外線ランプやヒーターの製作、また石英製品と組み合わせたユニット、装置も手掛けております。

世界各地で作られている半導体ですが、我々が製造する石英製品は、半導体製造におけるキーパーツです。我々としては、現状に満足せず更なる成長を図るとともに兵庫県が世界の半導体製造を支える石英パーツの主要産地となることを目標に事業に取り組んでまいります。

DATA



所在地	姫路市夢前町杉之内17
従業員数	600名
資本金	6,000万円
設立	1968年5月
代表者	代表取締役 赤錆 充